

MITSUBISHI

三菱  電気温水器

ダイヤホット



- 「時間帯別電灯」対応通電制御型
- 深夜電力通電制御型（8時間）



形名
SRT-3764FA-BL
SRT-4664FA-BL

据付工事説明書 販売店・工事店さま用




この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付工事が必要です。据付工事の前にこの「据付工事説明書」を必ずお読みください。





安全のために必ずお守りください



■ 誤った取扱いをした場合に生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

 警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性があるもの
 注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

■ 本文中に使われる図記号の意味は次のとおりです。

	禁止
	アース線接続
	指示に従い行う

 警告	
	必ずアース工事をする 工事に不備があると、故障や漏電のときに感電することがあります。
	ガス類や引火物の近くには据付けない 発火・火災になることがあります。
	漏電遮断器の動作を確認する 故障のまま使用すると、感電することがあります。

 注意	
	凍結防止対策を行う 凍結すると、本体が破損したり配管が破裂してやけどをすることがあります。
	床面の防水・排水処理工事をする 処理しないと、水漏れが起きたとき、大きな被害につながる可能性があります。
	脚をアンカーボルトで固定する 固定しないと地震のとき、本体が倒れてけがをすることがあります。
	2階以上に据付けられる場合は、上部固定金具で本体を固定する 固定しないと地震のとき、本体が倒れてけがをすることがあります。

1. 据付工事をされる方へ

- この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付工事が必要です。据付工事の前に「安全のために必ずお守りください」を必ずお読みください。
- 工事後は、取扱説明書、工事確認書とともに、お使いになるお客さまにお渡し、保管していただくよう依頼してください。
- この説明書に記載されていない方法や保証書と適合しない内容で工事された場合、また、指定の純正別売部品を使用せず工事された場合、事故や故障が生じたときには責任を負いかねます。
- この製品はポンプを内蔵しているため、ポンプ運転中は運転音 [45dB (A) 以下] がします。音が気になる場所には据付けしないでください。

【お願い】

- 工事作業中は手袋を着用してください。金属端面によるけがや高温部接触によるやけどなどを防止します。
- 運搬するときは本体上部のとつと脚を持ってください。また、高層住宅などへのつり上げ運搬は、つり上げ台を使用してください。
- 屋外で開梱した場合、強風によって製品が転倒することがあります。風が当たらない安定した場所に仮置きしてください。
- 製品の上面には上がらないでください。変形することがあります。
- 上水道直結の配管工事は、必ず当該水道局（水道事業管理者）の認定水道工事業者が行い、指定された配管材料を使用してください。
- 電気工事は、電気設備基準及び内線規程に基づいて必ず指定工事業者が行なってください。
- メンテナンスのための十分なスペースを確保してください。（前方 600mm以上、上方 200mm以上）
- 水は必ず水道法に定められた飲料水の水質基準に適合した水をご使用ください。
- 使用する浴槽の大きさの目安は、220L～350Lです。
- 本体1台に対して接続できる浴槽は1台です。
- 本体の複数接続はできません。
- 本体と太陽熱温水器との接続はできません。
- 本体内蔵減圧弁からの2次給水はできません。

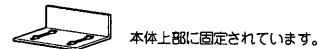
2. 同梱付属品

次の部品が付属されています。

①脚固定金具 < 2個 >



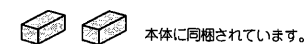
②上部振れ止め金具 < 1個 >



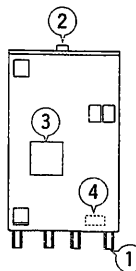
③ホースセット < 1セット >



④パテセット < 1セット >



同梱場所



3. 純正別売部品

据付工事には、品質と耐久性を考え、三菱純正別売部品をお使いください。

必要な部品

No	部品名	個数	形名
1	台所リモコン	1	RMC-4FK
	浴室リモコン	1	RMC-4FB
2 (選択)	浴槽アダプター（直管おねじ）	1	GT-A76
	浴槽アダプター（直角おねじ）		GT-A78
3 (選択)	リモコンケーブル（4芯 3m）	1	LM-503B
	リモコンケーブル（4芯 5m）		LM-505B
	リモコンケーブル（4芯 7m）		LM-507B
	リモコンケーブル（4芯 10m）		LM-510B
	リモコンケーブル（4芯 15m）		LM-515B
4	絶縁パイプ（20A 1m）給湯用	1	GT-60B
5	絶縁パイプ（20A 0.5m）給水用	1	GT-61B
6	絶縁パイプ（15A 0.5m）ふろ給湯用	2	GT-62B
7	アース棒	1	GT-30B

- リモコンケーブルは、設置状況に合わせて選んでください。
- リモコンケーブルは台所リモコン、浴室リモコン、それぞれ必要です。

条件により準備する部品

No	部品名	個数	形名
8	脚部カバー	1	GT-B460F
9	給湯加圧ポンプ	1	GT-81B
10	空気抜き弁	1	GT-20B

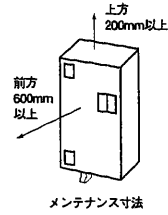
仕様確認のうえ現地調査可能部品

No	部品名	個数	形名
11	アンカーボルトM12（30本入）	—	GZ-B1
12	アンカーボルトM10（50本入）	—	GZ-B2

4.据付工事

据付場所の選定

- 漏水器と建物とのすき間寸法は各都市の火災予防条例に従ってください。
- 雨や雪が降ったとき、水たまりができて水につかるようなところには絶対に据付けしないでください。
- 浴室など湿気の多いところには据付けしないでください。
- 配管の放熱ロスを少なくするため、使用頻度の多い台所近くが最適です。
- 室内（機械室など）に据付ける場合は通気口を設け、密閉室にしないでください。
- 保守、点検に必要なスペースを確保してください。また、本体が故障したときや交換時の搬入、搬出ができるように側面のスペースも考慮してください。



設置基準適合

この製品は「組込み形等電気機器の設置に関する自主基準」（平成6年11月18日改正社団法人日本電機工業会）設置基準適合品のため、建築物の可燃物等からの離隔距離は、上下、左右、前後方向とも0mm以上です。ただし、故障時や交換時などのメンテナンススペースを確保するため、右図に示す寸法を確保してください。

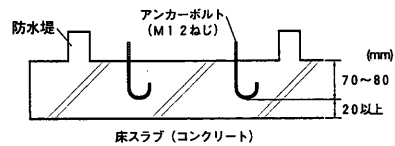
警告

ガス類や引火物の近くには据付けない
発火・火災になることがあります。

床面工事

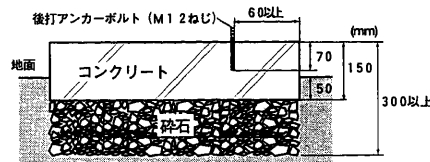
- 満水時の質量（460Lで約545kg、370Lで約445kg）に十分耐える基礎工事をしてください。
- 屋内設置の場合は床面の防水、防水堤および排水処理工事を行なってください。

基礎工事 埋込みアンカーの場合（屋内の場合）



コンクリートの圧縮強度……1764×10⁴Pa (180kgf/cm²) 以上
アンカーボルト引き抜き力……9800N (1000kgf) 以上

後打ちアンカーの場合（屋外の場合）



【お願い】・買換え時、アンカーボルトの位置が異なっているときは、新たにアンカーボルトを打ってください。
・後打ちアンカーボルトの場合は下表のものをご使用ください。

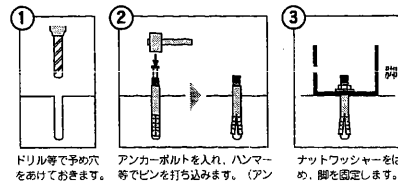
品名：雄ねじ形メカニカルアンカーボルト 寸法 (mm)

直径	全長	ねじの長さ	ドリル径	埋込み深さ
12	100	30	12.7	70

注意

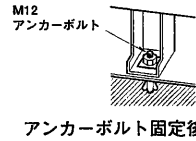
床面の防水・排水処理工事をする
処理工事しないと水漏れが起きたとき、大きな被害につながる場合があります。

後打ちアンカーボルトの施工例



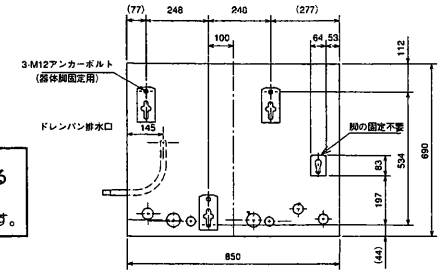
脚固定方法

- 脚は地震時の転倒防止のためアンカーボルトを使用して床面に固定します。3箇所必ず固定してください。



注意

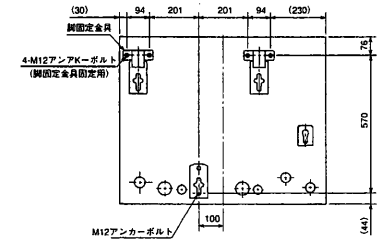
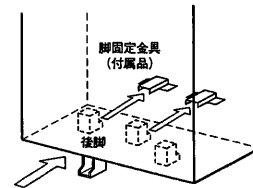
脚をアンカーボルトで固定する
固定しないと地震のとき、本体が倒れてけがをすることがあります。



アンカーボルト位置 (上面透視図)

後脚がアンカーボルトで固定できない場合

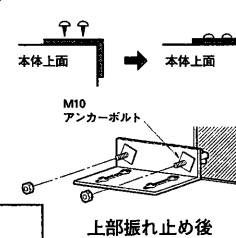
- ① 付属の脚固定金具をM12アンカーボルトで右図の位置に固定します。
- ② 本体を矢印の方向に移動させ、後脚を脚固定金具の爪にはめ込みます。
- ③ 前脚をアンカーボルトで固定します。



脚固定金具使用時 (上面透視図)

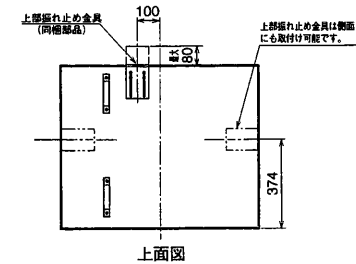
上部振れ止め工事

- ① 本体上面に取付けてある上部振れ止め金具を外し上向きに取付けます。
- ② 上部振れ止め金具を壁に固定します。



注意

2階以上に据付ける場合は、上部振れ止め金具で本体を固定する
固定しないと地震のとき、本体が倒れてけがをすることがあります。



上面図

【お願い】・引張荷重が4900N (500kgf) 以上に耐える壁、または棧を設けてください。

- ・アンカーボルトは引き抜き力が2450N (250kgf) 以上になる施工をしてください。
- ・後打ちアンカーボルトの場合は右表のものをご使用ください。
- ・上部振れ止め金具を側面に取付ける場合、使用しないねじ穴は雨水が入らないように付属のシールでふさいでください。(シールは上部振れ止め金具に付いています。)

品名：雄ねじ形メカニカルアンカーボルト 寸法 (mm)

直径	全長	ねじの長さ	ドリル径	埋込み深さ
10	60	25	10.5	35

5.配管工事

- 上水道に直結する場合は当該水道局の条例に基づき認定水道工事業者が、指定された配管材料を使って施工します。
- 水は、必ず水道法に定められた飲料水の水質基準に適合した水を使用します。
 - ・塩分、石灰分、その他の不純物が使用水に多く含まれていたり、酸性水質の地域での使用はさけてください。
 - ・井戸水などは水質によって故障の原因となりますので、ご使用はさけてください。
- 水源水圧は150kPa (1.5kgf/cm²) 以上、必要です。
- 温水器回りの配管部品は、保守、点検がしやすいように取付けます。
- 水栓は湯水混合栓を使用してください。特に浴室ではやけど防止のためサーモスタット付湯水混合栓等を使用してください。
 - ・サーモスタット付湯水混合栓を使用する場合、構造により出湯量が極端に少ない場合があります。ご使用になるときは、最低必要圧力、シャワーヘッドなどの仕様を確認して選定してください。
- 逃し弁、減圧弁は当社純正部品を使用しています。交換する場合は、三菱純正部品をご使用ください。
- ドレンホースは必ず排水ホッパーに導いてください。万一の水漏れ被害を防ぎます。

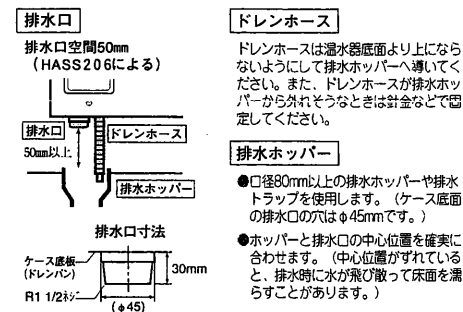
- 【お願い】 ●配管材料をろう付けした場合は、ろう付け箇所のフラックスや温水器ケースに飛散したフラックスを濡れた布できれいに拭き取ってください。
- 給湯配管は、管の膨張収縮がありますので、コンクリート壁やスラブを貫通するときはスリーブを使用し、埋設配管するときは管を固定しないでください。
- 配管材料はネジ切り・切断などの際、油やゴミが付着してから加工後は必ず中性洗剤で洗浄してから配管してください。また、キズやバリが無いように面取りを行ってください。(通水後は各水栓などのストレーナーにゴミがたまってないか点検してください。)
- 配管接合部のシール材は耐熱・耐食性のある材料を使用してください。

本体配管、ふろ配管工事

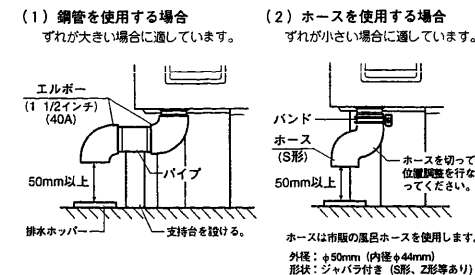
〈温水器専用止水栓〉 ●水漏れや故障のときなど水源を止めるために必要です。必ず温水器専用にしてください。

	使用する配管材	絶縁パイプ	施工上の注意事項
給水配管	耐熱・耐食性を有するもの (銅管など)	GT-61B (20A, 0.5m)	●タンクの掃除や点検など排水するときに必要な温水器専用止水栓を取付けてください。
給湯配管	耐熱・耐食性を有するもの (銅管など)	GT-60B (20A, 1m)	●階下給湯する場合、給湯栓の高さは本体設置面から5m以内にしてください。(詳しくは特殊配管例をご覧ください。)
ふろ配管	耐熱・耐食性、絶縁を有するもの (銅管・HT管など)	GT-62B (15A, 0.5m)	<ul style="list-style-type: none"> ●ふろ配管は、1.5A (1/2) の配管を使用します。途中で絶縁パイプ (GT-62B) を取付けてください。 ●ふろ行き配管と戻り配管で、曲げ回数や長さなどが同一条件となるように配管してください。(水圧に差が生じると動作不良の原因になります。) ●配管長さは片道15m5曲りまでです。(φ12.7ヘアチューブの場合は、浴槽設置1階の場合のみ6m5曲りまでです。) ●階下へのふろ配管はできません。 ●鳥居配管はさけてください。(湯張り誤動作の原因となります。) ●フレキ配管は、できるだけさけてください。 ●浴槽アダプターは設置条件に合わせて、専用の純正別売部品を使用してください。
排水配管	耐熱性を有するもの (HT管など) <small>排水時に高温(最高約90℃)のお湯が排水される場合があります。</small>	—	<ul style="list-style-type: none"> ●排水管は、内径50mm以上、配管勾配1/50以上にします。 ●湯張り時や沸き上げ中に本体下部の排水口より少量の水が出ますので、必ず排水工事を行ってください。

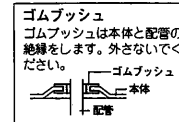
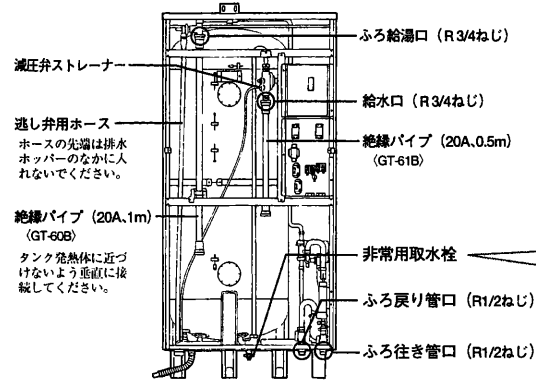
排水口付近拡大図



排水口と排水ホッパーの位置がずれている場合



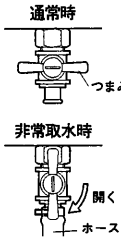
本体内部配管工事



【お願い】

万一、タンク等から漏水した時、大きな被害につながる恐れがありますので本体と配管のすきまを同梱のバテでシールしてください。シール方法は、付属の工事説明書をお読みください。

非常用取水栓使用図

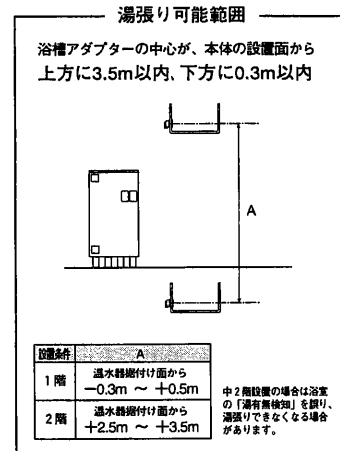
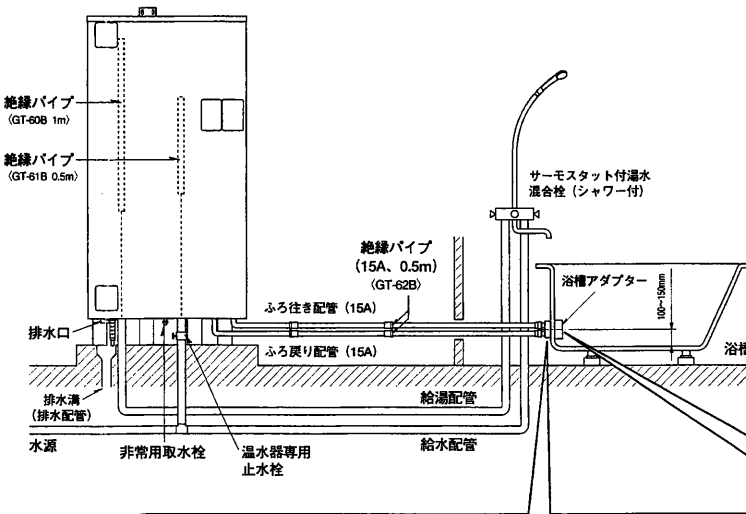


- 通常は、つまみを閉じておきます。開けておくとタンク内の水(湯)が漏れ、故障や湯切れの原因になります。
- 非常取水時はホースを取付け、つまみを開きます。(熱湯が出る場合がありますので注意してください。)

工事をされる方へ: お客さまへ使用方法を具体的に説明してください。

標準配管例

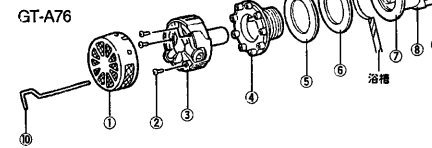
絶縁パイプ以外の給水配管、給湯配管及び、ふろ配管は現地で準備してください。



浴槽アダプター取付け工事

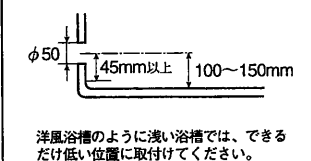
- 取付け方法については、浴槽アダプターの工事説明書をお読みください。
- 浴槽内厚20mmまで取付け可能です。
- フィルターガイドの「上」印が上方になるように取付けてください。
- 取付けには別売の専用締付工具(当社製 GT-75K)をご使用ください。

浴槽アダプター(別売部品)



浴槽穴あけ工事

- 浴槽穴は、底面から100~150mmの位置にあけてください。
- 浴槽穴径のセンターからRじまいまでの寸法は45mm以上です。

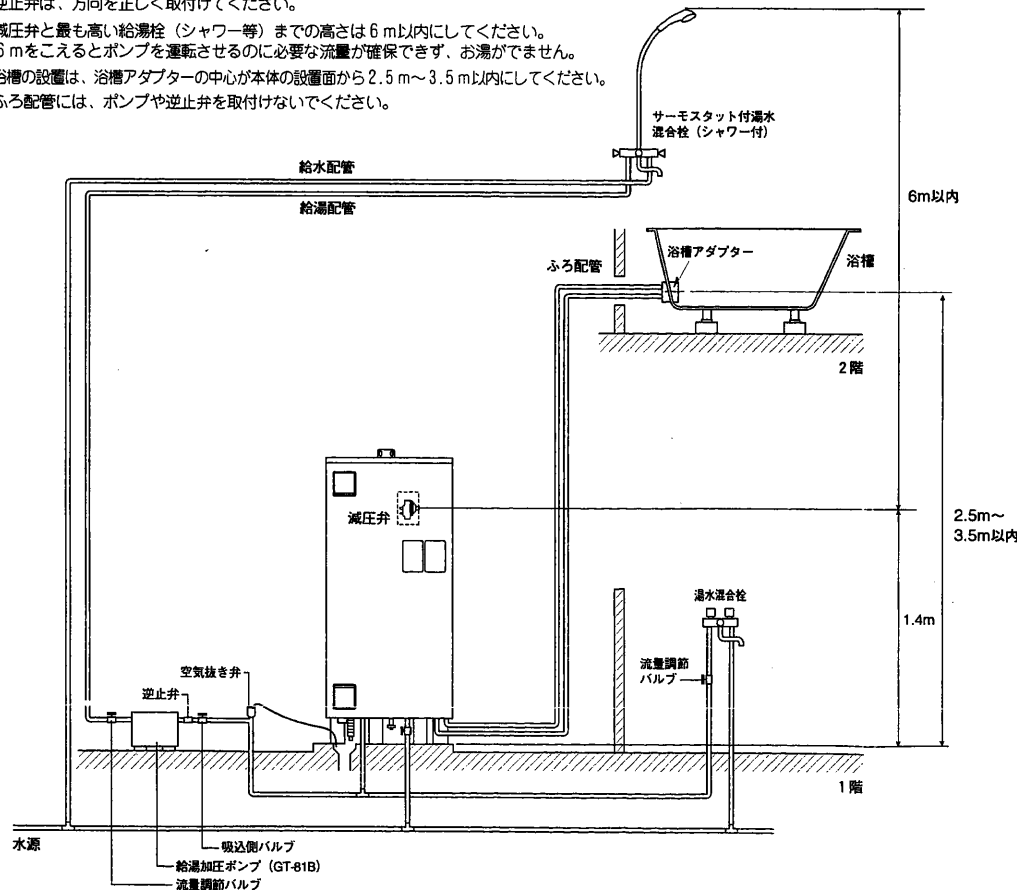


特殊配管工事

1. 2階給湯配管例

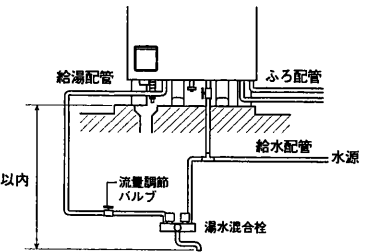
- ポンプは別売部品（給湯加圧ポンプ GT-81B）を使用してください。取付け方法等については給湯加圧ポンプの据付工事説明書をお読みください。
- ポンプの設置場所は、必ず防水工事をしてください。（修理・点検時の分解掃除などの際に水が流れ出すことがあります。）
- シングルレバー水栓使用時、ポンプにウォーターハンマー（水撃）がかかるおそれのある場合は、ポンプと水栓の間の配管に水撃防止器（市販品）を取付けてください。取付け方法等については水撃防止器の説明書をお読みください。
- 1階、2階へ給湯する場合は、ポンプの前で1階給湯を分岐させてください。ポンプの後で分岐させると、1階でお湯を使用すると2階ではお湯が出なくなる場合があります。
- ポンプの据付け面から階下へは、絶対に給湯しないでください。温水器やポンプに負圧が発生し、破損・故障の原因となります。

- 【お願い】
- 空気抜き弁を必ず取付けてください。ポンプの吸込管側の空気がたまりやすいところに垂直に取付けます。（空気が入るとお湯の出が悪くなります。）
 - 空気抜き弁はゴミがかんだり故障したときにビニルホースから湯が出ます。ビニルホースは必ず排水ホッパー（排水穴）等に導き、外れないように固定してください。
 - 1階給湯配管の途中に流量調節バルブを取付けてください。
 - ポンプの配管には吸込側バルブ、流量調節バルブ、逆止弁を取付けてください。
 - 逆止弁は、方向を正しく取付けてください。
 - 減圧弁と最も高い給湯栓（シャワー等）までの高さは6m以内にしてください。6mをこえるとポンプを運転させるのに必要な流量が確保できず、お湯ができません。
 - 浴槽の設置は、浴槽アダプターの中心が本体の設置面から2.5m～3.5m以内にしてください。
 - ふろ配管には、ポンプや逆止弁を取付けしないでください。



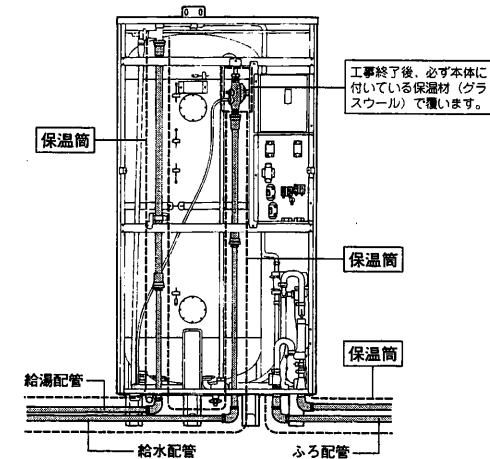
2. 階下給湯配管例

- 給湯配管は階下5mまで可能です。
- 階下へのふろ配管はできません。
- 給湯配管の途中に流量調節バルブを取付けてください。
- 空気の混ざったお湯が出る場合は、温水器への給水量が不足しています。流量調節バルブで、給水と給湯する量がバランスするよう調節してください。



保温工事

- 配管接続部の水漏れの有無を点検してから工事をしてください。
- 地中配管や屋外など雨露のかかる保温箇所には適切な防水処理をしてください。
- 給湯、給水、ふろ配管は、必ず保温工事を行なってください。



凍結防止工事

- 保温工事があっても周囲温度が0℃以下になると配管は凍結します。機器や配管が破損する場合がありますので適切な凍結防止対策を施工してください。

△注意

凍結防止対策を行う
凍結すると、本体が破損したり、配管が破裂してやけどをすることがあります。

【お願い】 凍結防止対策とその操作方法をお客さまに十分に説明してください。

【お願い】 配管に水が無い状態では、絶対に凍結防止ヒーターに通電しないでください。

凍結防止ヒーターによる方法

- ①凍結の恐れがある配管すべてに巻きます。（本体内部の配管については保温材による凍結防止を行なってください。）
- ②凍結防止ヒーターを巻く場合はヒーター同梱の「説明書」により施工します。
- ③凍結防止ヒーターは何本も使用しますので適当な位置にコンセントを設けます。

6.電気工事

電気設備基準及び内線規程に基づいて必ず指定工事業者が行なってください。

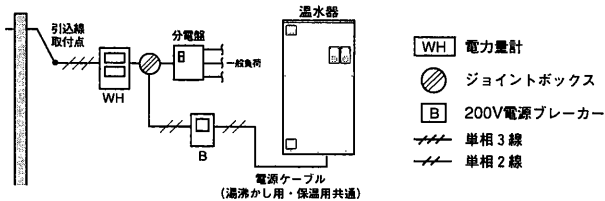
- 試運転は必ずタンクを満水してから行ってください。
- ブレーカー（配線用遮断器）および電線（ケーブル）の太さは内線規程（下表参照）に定められたものを使用してください。

引込配線工事

深夜電力で使用される場合は、保温用電源として昼間電力200Vの配線工事が必要です。

時間帯別電灯で使用する場合

引込口から温水器までの回路は以下のとおりです。



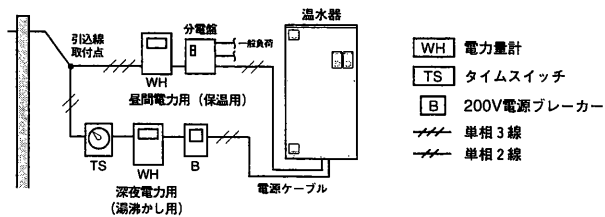
【お願い】 引込線取付点とジョイントボックス間のケーブルの太さは、一般負荷と温水器を見込んだサイズにしてください。

【お知らせ】 電気温水器用電源ブレーカー組込みの分電盤の場合は、分電盤より直接配線してください。

ブレーカーの定格とケーブルの太さ・種類

形名	定格電圧	定格消費電力	ブレーカー定格	ケーブルの太さ	種類
SRT-3764FA-BL	単相200V	5.6kW	40A	8mm ² (φ3.2mm)	VV
SRT-4664FA-BL	単相200V	6.6kW	50A	14mm ²	VV

深夜電力で使用する場合



ブレーカーの定格とケーブルの太さ・種類

形名	定格電圧	定格消費電力	ブレーカー定格	ケーブルの太さ	種類
SRT-3764FA-BL	単相200V(深夜電力)	4.4kW	30A	8mm ² (φ3.2mm)	VV
	単相200V(昼間電力)	1.2kW	15A	φ1.6mm	VV
SRT-4664FA-BL	単相200V(深夜電力)	5.4kW	40A	14mm ²	VV
	単相200V(昼間電力)	1.2kW	15A	φ1.6mm	VV

【お願い】 200Vターミナルの圧着端子は「時間帯別電灯」対応通電制御形に対応していますので、ケーブルの太さは記載されているサイズにしてください。

【お知らせ】 深夜電力で使用する場合は、50L沸き増し、満タン沸き増しはできません。

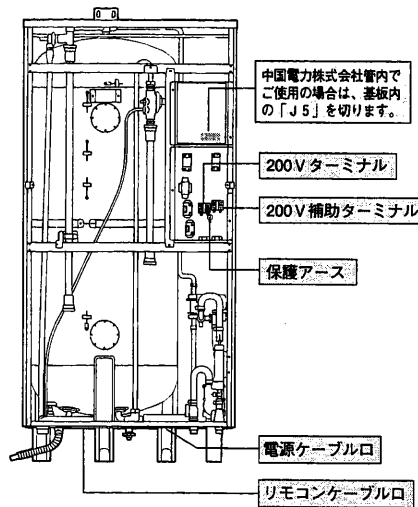
本体内部配線工事

以下の配線工事を行なってください。

- ・200V電源工事 ・保護アース（接地）工事 ・リモコン工事（6ページ）
- 各配線で使用するケーブルは必要以上にたるませないでください。
- 前面カバーは右図を参照して開けてください。

1. 200V電源工事

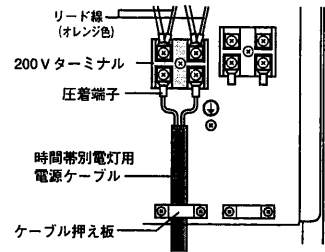
この温水器は時間帯別電灯で使用できるように内部配線されています。
深夜電力で使用する場合は、「深夜電力で使用する場合」の工事を行なってください。



時間帯別電灯で使用する場合

- ①時間帯別電灯用電源ケーブルを電源ケーブル口から通し、200Vターミナルに接続します。
- ②ケーブル押え板で時間帯別電灯用電源ケーブルを固定します。

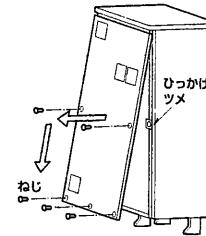
・締付トルク3.2N・m (33kgf・cm) 以上
線間絶縁距離6mm以上



【お願い】 ターミナルへの接続は付属の圧着端子を使用してください。

前面カバーの外し方

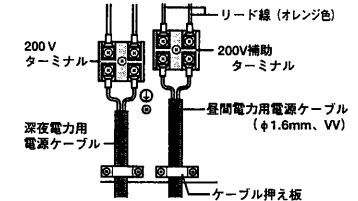
前面カバーのねじ（5本）を外したあと、前面カバーを上げながら手前に引いて降ろします。



【お願い】 配線が終わったあと、前面カバーは元どおり確実に閉めてください。

深夜電力で使用する場合

- ①200Vターミナルに接続してあるリード線（オレンジ色）を外し、200V補助ターミナルに接続します。
- ②昼間電力用の電源ケーブルを200V補助ターミナルに接続します。
- ③深夜電力用電源ケーブルを電源ケーブル口から通し、200Vターミナルに接続します。
- ④ケーブル押え板で電源ケーブルを固定します。



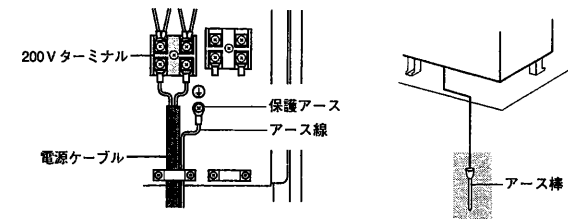
2. 保護アース（接地）工事

- 万一の感電事故防止のため電気設備技術基準および内線規程に基づき、必ず電気工事士による第3種接地工事（接地抵抗値100Ω以下）を行なってください。
- 水道管、ガス管への接地、および他器具用アースとの共用はできません。
- 避雷針の接地と2m以上離してください。

- ①アース棒（純正別売部品）と市販のアース線（IV電線3.5mm² 緑色）を半田付けまたは接続端子で接続します。
- ②アース線電源ケーブル口から通し、200Vターミナル右下の保護アース（⊕マーク）に接続します。
- ③アース棒を湿気のあるところでも地中30cm以上の深さに打ち込みます。

警告

必ずアース工事をする
工事に不備があると、
故障や漏電のとき感電することがあります。

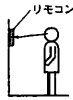


3. 台所リモコン (別売品 RMC-4FK) 工事

リモコンケーブルは、必ず三菱純正別売部品をご使用ください。

取付け場所の選定

- 台所リモコンは必ず屋内に取付けてください。
- 【お願い】 台所リモコンは防水タイプではありません。下記の場所には取付けないでください。
 - ・浴室など湿気の多いところ
 - ・ガステーブルなどの高温 (50℃以上) になるところ
 - ・直射日光のあたるところ
 - ・蒸気や水しぶきのかかるところ
- リモコンケーブルの長さが15m以内になる場所に取付けてください。
- 台所リモコンはスイッチ操作が容易にでき、表示が良く見えるところ (目の位置より少し下側) に取付けてください。



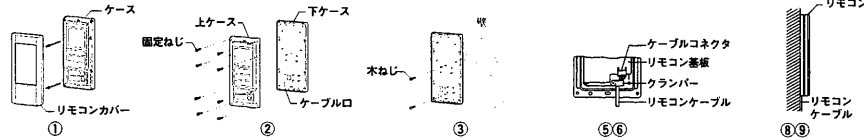
台所リモコン付属品

部品名	数量	部品名	数量
木ねじ (4×20)	2	Mねじ (M4×20)	2
温水器本体取付け用シール	2	ケーブルクランパー	2

- 【お願い】 余った部分のリモコンケーブルをリモコンケース内に収納しないでください。誤動作の原因になります。

壁面に取付ける場合 (ケーブル露出配線)

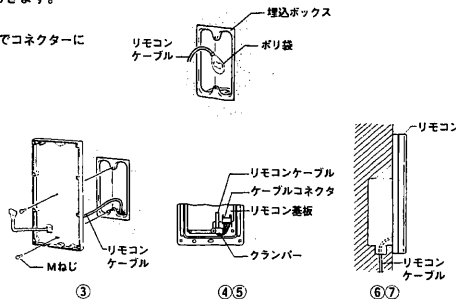
- ① マイナスドライバーでリモコンカバーをケースからはずす。
- ② 固定ねじ (8本) を外す。
- ③ 下ケースをケーブル木ねじ 2本で壁に取付ける。
- ④ 下ケースの「ケーブル口」をニッパーなどで切欠く。
- ⑤ 上ケースのクランパーを外す。
- ⑥ 上ケースのリモコン基板コネクタにケーブルコネクタを差し込み、リモコンケーブルをクランパーで固定する。
- ⑦ 上ケースを下ケースにはめ、固定ねじ (8本) で固定する。
- ⑧ リモコンカバーをケースにはめる。
- ⑨ ケーブルを壁面に固定し、温水器まで配線する。



壁面に取付ける場合 (ケーブル埋込配線)

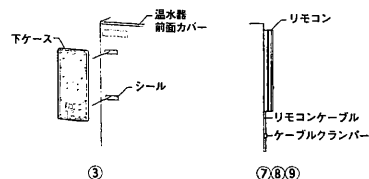
- ・リモコン取付け位置に埋込用スイッチボックス (JIS 1個用) を取付けておきます。
- ・リモコンケーブルを電線管に通し、温水器まで配線しておきます。
- リモコンケーブルを配線するときは、コネクタを保護しているポリ袋をつけたままでコネクタに強力がからないように行います。

- ① マイナスドライバーでリモコンカバーをケースからはずす。
- ② 固定ねじ (8本) を外す。
- ③ 埋込ボックスから出ているリモコンケーブルを下ケースの穴に通し、下ケースをケーブルMねじ 2本で埋込ボックスに取付ける。
- ④ 上ケースのクランパーを外す。
- ⑤ 上ケースのリモコン基板コネクタにケーブルコネクタを差し込み、リモコンケーブルをクランパーで固定する。
- ⑥ ケーブルを埋込ボックスに押込むようにして、上ケースを下ケースにはめ、固定ねじ (8本) で固定する。
- ⑦ リモコンカバーを取付ける。



温水器に取付けて使用する場合 (温水器を屋内に設置した場合に取付けられます。)

- ① マイナスドライバーでリモコンカバーをケースから外す。
- ② 固定ねじ (8本) を外す。
- ③ 下ケースにシール 2枚を貼って、温水器の前面カバーに取付ける。
- ④ 下ケースの「ケーブル口」をニッパーなどで切欠く。
- ⑤ 上ケースのクランパーを外す。
- ⑥ 上ケースのリモコン基板コネクタにケーブルコネクタを差し込み、リモコンケーブルをクランパーで固定する。
- ⑦ 上ケースを下ケースにはめ、固定ねじ (8本) で固定する。
- ⑧ リモコンカバーをケースにはめる。
- ⑨ ケーブルをケーブルクランパーで固定する。(2箇所)



4. 浴室リモコン (別売品 RMC-4FB) 工事

リモコンケーブルは、必ず三菱純正別売部品をご使用ください。

取付け場所の選定

- 浴室リモコンは防水タイプですが、できるだけ湯や水がかかりにくい場所に取付けてください。
- カバーは湿気の少ない場所に取付けてください。
- リモコンケーブルの長さが15m以内になる場所に取付けてください。
- 浴室リモコンはスイッチ操作が容易にでき、表示が良く見えるところ (目の位置より少し下側のところ) に取付けてください。

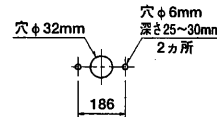
浴室リモコン付属品

部品名	数量	部品名	数量
木ねじ (4×32、SUS)	4	取付パイプ (太)	1
オールプラグ	4	取付パイプ (細)	1
カバー (パッキン付)	1	ゴムブッシュ	1

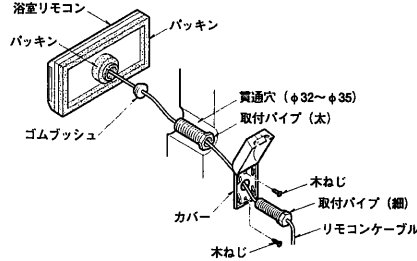
- 【お願い】 ・リモコン本体を分解しないでください。

コンクリート、タイルなどの壁に取付ける場合 (壁貫通)

- 壁厚200mmまで取付け可能です。
- 壁に貫通穴 (φ32~35mm)、オールプラグ用穴 (φ6mm、深さ約30mm、2カ所) をあけ、オールプラグを打ち込みます。

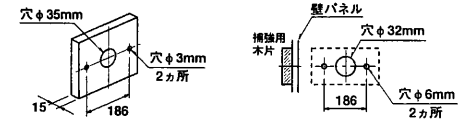


- ① マイナスドライバーなどで、リモコンカバーをケースから外す。
- ② 取付パイプ (太)、(細) を壁の厚さに合わせてカットし、取付パイプ (太) を貫通穴に通す。
- ③ リモコンケーブルを取付パイプ (細)、カバーを通し、取付パイプ (太) から壁の反対側へ送る。
- ④ リモコンケーブルのコネクタをリモコンのコネクタに差し込みゴムブッシュをリモコンにはめ込む。
- ⑤ 取付パイプ (太) をリモコン背面にねじ込み貫通穴に差し込んで、木ねじ 2本でリモコンを壁に固定する。
- ⑥ 取付パイプ (細) を取付パイプ (太) にねじ込み、カバーを木ねじ 2本で壁に固定する。
- ⑦ リモコンカバーを取付ける。



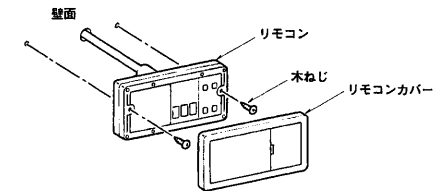
ユニットバスに取付ける場合 (壁内配線)

- 取付パイプ、カバー、オールプラグは使用しません。
- 室内側からリモコンケーブルを通しておきます。
- 壁にリモコンコード用穴 (φ32mm)、リモコン取付け用穴 (φ6mm) をあけます。
- 壁パネルに取付ける場合、裏側に補強用の木片を取付けます。(木片にリモコンコード用穴 (φ35mm) とリモコン取付け用穴 (φ3mm、2カ所) をあけます。)
- 補強用の木片を接着剤などで壁裏面に付けます。
- 木片は現地でご用意してください。



補強用木片参考寸法図

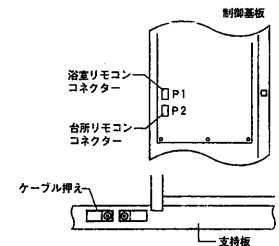
- ① マイナスドライバーなどで、リモコンカバーをケースからはずす。
- ② リモコンケーブルのコネクタをリモコンのコネクタに差し込みゴムブッシュをリモコンにはめ込む。
- ③ 木ねじ 2本で壁に固定する。
- ④ リモコンカバーを取付ける。



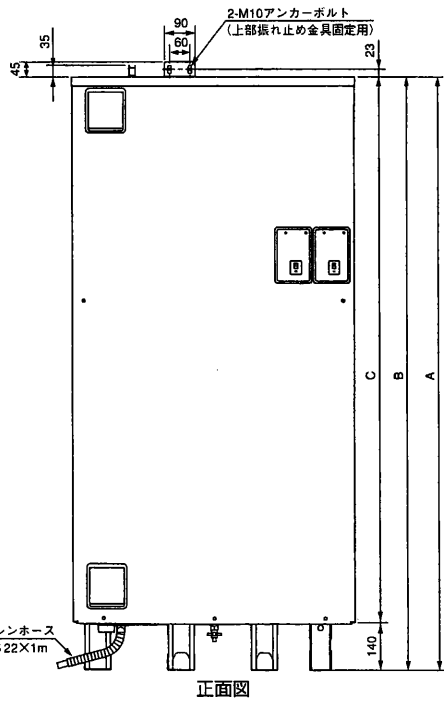
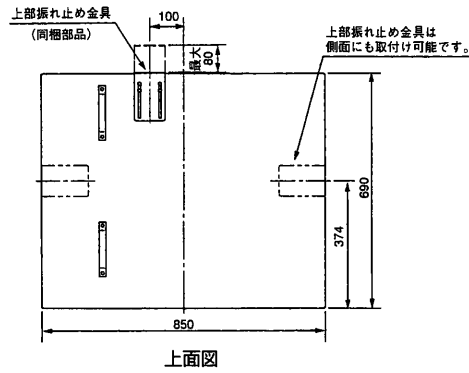
リモコンケーブルと温水器の接続工事

- ① リモコンケーブル口からリモコンケーブルを通し、制御基板左下のコネクタに接続する。
浴室リモコン...P1コネクタ 台所リモコン...P2コネクタ
- ② ケーブル押えでリモコンケーブルを固定する。

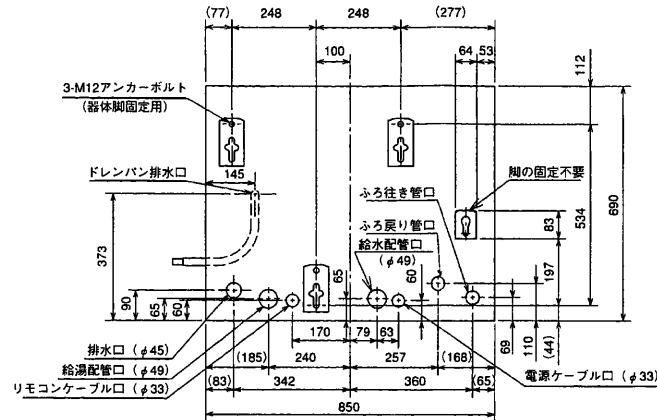
- 【お願い】 ・リモコンケーブルどうしの中継は誤動作の原因になりますので行わないでください。
- ・リモコンケーブルのコネクタの抜き差しは、リモコンケーブル部に強力がからないように行ってください。
 - ・リモコンケーブルは電源ケーブルと離して (約5cm以上) 配線してください。近いとノイズによる誤動作の原因になります。
 - ・リモコンケーブルを温水器の制御基板下のコネクタに接続するときは、200V電源プレーカーの電源レバーを「切」にしてから接続してください。



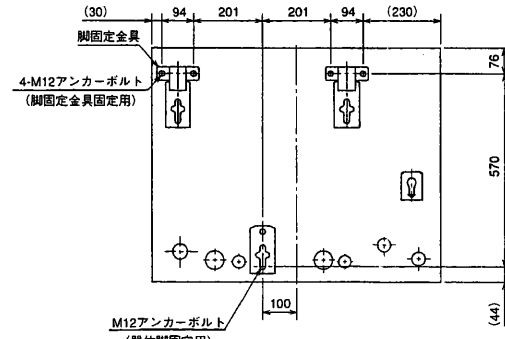
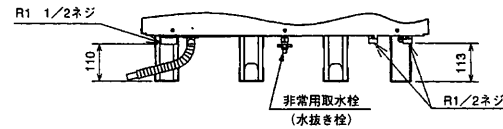
7.外形寸法図



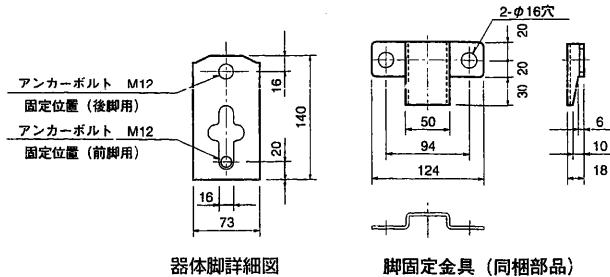
形名	SRT-3764FA-BL	SRT-4664FA-BL
タンク容量 (L)	370	460
定格消費電力 (kW)	5.6	6.6
質量 (kg)	本体	82
	満水時	452
寸法 (mm)	A	1773
	B	1750
	C	1610



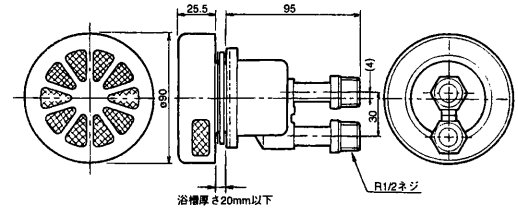
配管、アンカーボルト位置：上面透視図



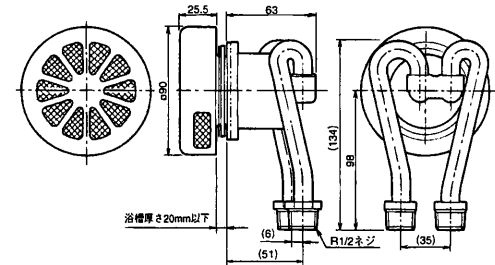
脚固定金具使用時：上面透視図



浴槽アダプター寸法図

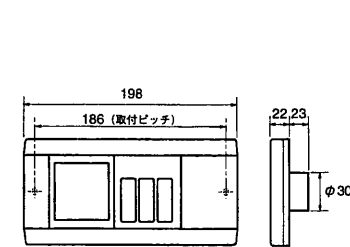


直管おねじタイプ (別売) GT-A76

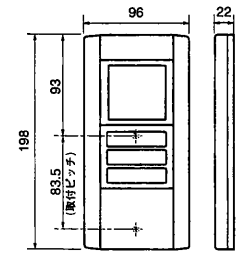


直角おねじタイプ (別売) GT-A78

リモコン寸法図

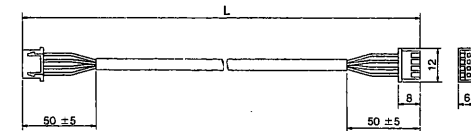


浴室リモコン (別売) RMC-4FB



台所リモコン (別売) RMC-4FK

リモコンケーブル寸法図 (別売)



形名	L (mm)
LM-503B	3000
LM-505B	5000
LM-507B	7000
LM-510B	10000
LM-515B	15000

8.チェックリスト

据付工事後は、必ずお客さま立ち合いのもとで下表にあげたチェック項目を確認してください。
不具合があった場合は、必ず直してください。（機能が発揮できないばかりか安全性が確保できません。）

（○印の付いているチェック項目は、同封の工事確認書で確認してください。）

	チェック項目	ページ	工事確認書 確認項目	判定
据 付 け 状 態	①脚がアンカーボルトで固定されていますか。（3カ所）	2	○	
	②満水時の重量（460Lで約554kg、370Lで約452kg）に十分耐えますか。	2	○	
	③メンテナンススペースが確保されていますか。（本体は出し入れできますか。修理・点検はしやすいですか。）	2		
	④火気・引火物は近くにありませんか。	2		
	⑤排水・防水処理はしてありますか。	2	○	
	⑥上部を固定しましたか。（2階以上に据付けた場合）	2	○	
	⑦ケースに傷、変形はないですか。	1		
配 管 工 事	①温水器専用止水栓は適切な位置についていますか。	3	○	
	②排水ホッパーはついてますか。	3	○	
	③排水口は排水ホッパーの中心に合っていますか。	3	○	
	④排水口と排水ホッパーの間隔は50mm以上あいていますか。	3	○	
	⑤給湯配管は耐食性、耐熱性に問題ない材質ですか。	3	○	
	⑥給湯配管に絶縁を考慮した配管材（L=1000mm以上）が入っていますか。	3		
	⑦給水配管に絶縁を考慮した配管材（L=500mm以上）が入っていますか。	3		
	⑧ふろ配管に絶縁を考慮した配管材（L=500mm以上）が入っていますか。	3		
	⑨風呂配管は、鳥居配管になっていませんか。（湯張り誤動作の原因となります。）	3	○	
	⑩浴槽アダプターは当社純正別売部品を使用していますか。	3	○	
	⑪埋込部に塩ビ管を使用していませんか。	3		
	⑫排水管材は90℃の温度に十分耐える材料になっていますか。	3	○	
	⑬絶縁パイプと金属管との接続部はインサートねじのものになっていますか。	3		
	⑭ドレンホースを排水ホッパーに導いていますか。	3	○	
	⑮保温工事は適切ですか。	4	○	
	⑯凍結防止工事は適切ですか。（凍結防止ヒーターの使用など）	4	○	
	⑰各水栓、減圧弁のストレーナーは点検しましたか。（ゴミが入っていると湯の出が悪くなります。）	3	○	
電 気 工 事	①電線（ケーブル）の太さは適切ですか。	5	○	
	②タイムスイッチ、ブレーカーはついてますか。	5		
	③タイムスイッチ、ブレーカーの定格は十分ですか。	5	○	
	④線間電圧は単相200Vですか。	5		
	⑤200Vターミナルの締付けは十分ですか。	5	○	
	⑥保護アース（接地）工事は確実ですか。	5	○	
	⑦ケーブル押え板は使っていますか。	5		
	⑧電源ケーブルと温水器の接続は、契約した制度（深夜電力、時間帯）に合わせて適切にされていますか。	5	○	
	⑨リモコンケーブルと温水器の接続は適切ですか。	6	○	
そ の 他	①湯水混合栓からの流量は十分ですか。	3		
	②温水器周辺や配管からの水漏れはないですか。（ふろ配管からの水漏れはありませんか。）	-	○	
	③逃し弁のレバーを立てて排水栓を開いたとき、排水があふれ出ることはないですか。	3		
	④試運転は異常なく完了しましたか。	8	○	
	⑤漏電遮断器は切りましたか。（物件など試運転確認完了後、すぐに入居しない場合）	-	○	

9.試運転

試運転はお客さま立ち合いで行なってください。

△注意

通電はタンクを満水にしてから行なってください。
満水にならないうちに通電すると、
ヒーターが過熱して故障の原因になります。

【お願い】深夜電力通電制御型で契約している場合は、電力会社の了解を得て、タイムスイッチを通電状態にしてから試運転を行なってください。

【お願い】リモコンの操作は取扱説明書をご覧ください。

1. タンクを満水にする
 - 湯水混合栓の湯温調節つまみを「高」側にして給湯レバーを開き、水が出ることを確認してください。
 - 水が出ない、出が悪い場合は、減圧弁や各水栓のストレーナーのゴミづまり、温水器専用止水栓などを点検してください。
2. 200V電源ブレーカーを「入」にする
3. 浴槽保温発熱体用漏電遮断器（右側）の電源レバーを「入」にする
リモコンに「H0」が表示された場合は、台所リモコンと浴室リモコンの接続が逆になっています。コネクタを差し替えてください。

△警告

漏電遮断器の動作を確認する
故障のまま使用すると、
感電することがあります。

4. 浴槽保温発熱体用漏電遮断器（右側）の動作を確認する
浴槽保温発熱体用漏電遮断器のテストボタンを押してください。
「入」になっていた電源レバーが「切」になれば正常です。
点検が終わったら電源レバーを「入」に戻してください。
5. タンク発熱体用漏電遮断器（左側）の電源レバーを「入」にする
6. タンク発熱体用漏電遮断器（左側）の動作を確認する
タンク発熱体用漏電遮断器のテストボタンを押してください。「入」になっていた電源レバーが「切」になれば正常です。
点検が終わったら電源レバーを「入」に戻してください。（ピークシフトを解除します。）
ヒーターへの通電を確認します。（電力計が回転し、台所リモコンに「ヒーター沸き上げ中」が表示されます。）
7. 台所リモコンで時刻設定を行う
8. 台所リモコンで温水器の沸き上げ湯温設定を行う
9. 湯張り動作を確認する（タンク内が水の場合でも確認できます。）
浴槽を空にして排水栓を閉じてから、浴室リモコンの水位設定を最低水位に設定し、湯温設定「低」スイッチを押しながら「ふる自動運転」スイッチを押します。しばらくすると、給湯と循環ポンプ動作を繰り返しながら湯張りを行います。
※試運転時の湯張り水位は最低水位（浴槽アダプターの中心から約13~17cm）になります。
湯張り水位が異常の場合、浴槽を空にして湯張りをやり直します。（一度記憶した水位を消去します。）記憶した水位の消去は本体基板上からリモコンケーブルを外し、約10秒後、本体制御基板リセットスイッチを押し、リモコンケーブルコネクタを接続します。
●浴槽の排水栓を閉じずに湯張りを行うと「U3」が表示されます。「U3」表示は、ふる自動運転スイッチを押すと解除されます。
●「ふる自動運転」スイッチだけを押し湯張りを行うと「U4」が表示されます。「U4」表示は、ふる自動運転スイッチを押すと解除されます。
●湯張り中に排水口から少量、排水されますが異常ではありません。
10. 湯張り終了後、配管及び各配管の接続部から水漏れが無いか確認する
11. 台所、浴室リモコンが取扱説明書の通りに操作できるかどうか確認する
12. 試運転終了後、必ず、ふる自動運転を停止させてから浴槽の水を排水する

【お願い】深夜電力通電制御型で契約している場合は、試運転終了後、タイムスイッチの時間を現在時刻に戻してください。

【お願い】試運転後に、本体基板リセットスイッチを押さないでください。万一、押してしまった場合は、リモコンのリセットを行なってください。
リモコンのリセット方法：リモコンケーブルのコネクタを外し、約10秒後に接続する。

10.お客さまへの説明

- 取扱説明書に基づいて、正しい使い方をお客さまにご説明ください。
- 寒冷地での凍結防止対策とその操作方法は具体的に説明してください。
- 長期間お使いいただくためには、定期点検が必要なことをお客さまにご説明のうえ、点検の相談や使用上の質問などに適切に対応してください。また、逃し弁、減圧弁、ヒーターパッキンなどは消耗部品であることを説明してください。
- 保証書、工事確認書に所定事項をご記入のうえ、取扱説明書とともにお客さまにお渡しいたください。
- とくに「安全のために必ず守りください」の項は、安全に関する重大な注意事項を記載していますので、必ず守るようご説明ください。
- 日常の点検、お手入れ方法などは、現品で具体的に説明してください。